



大会前に市長を訪れ、全国大会での豊足を語る織田監督(左)ら

全国大会で勝てるチームに

■弁慶TCが2014全日本綱引選手権大会に出場

「弁慶TC」の市内のメンバー4人が2月20日に榛原庁舎を訪れ、市長に2014全日本綱引選手権大会男子ミドル級への出場を報告しました。

同チームは、昨年12月に行われた県大会で優勝し、平成19年以来2回目の全国大会出場です。

3月2日に東京で行われた全国大会では、残念ながら予選リーグ敗退となりましたが、織田次郎監督は、「来年の全国大会を目指して、全国で勝てるように頑張る練習したい」と大会後に今後の抱負を述べました。

万が一に備えスクリーニングを体験

■原子力防災訓練

福島第一原発事故を受けて、市は2月13日、原子力防災訓練を行いました。

訓練は、地震発生後に浜岡原子力発電所の全交流電源が失われたことにより、半径5km圏内のPAZ(予防的措置範囲)内の住民に避難指示があったという想定。PAZ内の住民約50人が市のマイクロバスで避難し、静波体育館を会場に、放射線物質による汚染の有無を調べる「スクリーニング」検査の体験など、万が一に備えた訓練を行いました。



スクリーニング検査など緊急時の流れを体験する住民

吉田高校はいつまでも心の中に

■吉田高等学校閉校式

高校再編で4月から大井川高等学校と統合し、清流館高等学校になる吉田高等学校の閉校式が3月1日、同校で開かれました。

吉田高校は昭和47年に開校。英語科や福祉課などを設置し、専門性のある高等教育を展開しました。式には、在校生をはじめ、歴代校長や卒業生、地元住民ら約500人が出席。全員で校歌を歌った後、在校生の代表が校旗を安倍徹県教育長に手渡し、42年の歴史に幕を閉じました。平成27年4月からは、県吉田特別支援学校が開校予定です。



安倍県教育長(右)に校旗を手渡す生徒代表



「マキティー(左端)」「チャーフィン(左から2番目)」らは大人気

空港周辺のゆるキャラ勢ぞろい

■世界文化遺産登録後初の「富士山の日」イベント

昨年6月の富士山の世界文化遺産登録後に初めて迎える「富士山の日」イベントが2月22日、23日に県内各地で行われました。

富士山静岡空港では、23日の「富士山の日」に、「周辺地域ご当地キャラクターとの記念撮影会」が行われ、多くの家族連れが商工会の「マキティー」や市茶業振興協議会の「チャーフィン」などと記念撮影。このほか、周辺市町の幼稚園・保育園児が描いた富士山の絵の展示など、大勢の人が富士山関連イベントを楽しみました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



燃えさかるかがり火の前で、太刀を使い空間を結界する「本刀振り」

豊作願い厳かに舞う

■国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」

国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」が2月11日の夜、同地区の蛭児神社で行われました。

稲作の過程を模擬的に演じ、豊作や子孫繁栄などを祈願する鎌倉時代から続く民俗芸能。境内のかがり火を前に、20歳から40歳の地区の青年男子12人が笛や太鼓などを使わずに、「ほた引き」や「本刀振り」などの儀式や、「田植え」「稲刈り」など農作業を模した合計16演目を熱演。綾笠をかぶった青年が刀や鎌などの道具を用いて舞を奉納すると、見物客は厳かな舞を静かに見守りました。

また、これに先立ち2月3日には、萩間小で3年生を対象に出前授業が行われました。

わーい! 雪山だあ!!

■マキティー雪山大作戦

マキティー雪山大作戦が2月9日、榛原庁舎駐車場で行われ、大勢の親子連れなどが参加しました。

普段雪を見る機会がほとんどない子どもたちのために、市商工会青年部が初めて開催しました。

雪は、裾野市から大型トラックで搬入。防寒着に手袋、長靴姿の子どもたちは、駐車場に特設された高さ約5mの雪山でソリすべりをしたり、雪だるまを作ったりと、一日限定のゲレンデでうれしそうな歓声を上げていました。



榛原庁舎駐車場に特設された雪山でソリすべりする子ども



榊の葉を口にくわえて一幡神社へ御神体を運ぶ行列

御神体を守り豊作を願う

■一幡神社(菅ヶ谷)の御榊神事

一幡神社に伝わる県指定重要無形民俗文化財「御榊神事」が、2月7日から9日にかけて行われました。

神事は、名(苗)と呼ばれる28戸に引き継がれており、輪番で1戸が「本名」として祭典を仕切ります。本名の蓮池睦男さん宅から一幡神社まで御本飯と呼ばれるひし型餅やお神酒などが運ばれ、新しい本名の高塚友希さんに引き渡されました。この後、さいの目状にした御本飯を榊の葉に包んだ御神体「御榊様」が作られ、これから1年間神社にある御飯屋に祭り、翌年の豊作を願うものです。